

“精神科看護をつなぐ会”



11月14日（水）に第2回長岡地域看護職意見交換会“精神科看護をつなぐ会”を開催し26名の参加がありました。

「“地域の関係機関”とお互いに顔のみえる関係をつくりたい」「地域での生活支援の現場で働く職員さんの話が聞きたい」という思いから、長岡地域の施設や機関で働く看護職の皆さまにお声をかけさせていただいております。

今年度2回目の開催で、地域の精神科病院、保健福祉職員のかたの参加を得て、当院看護職員を交え意見交換させていただきました。今回は当院の前澤心理士からテーマを「わたしのトリセツ」とした講義があり、その後グループに分れ、テーマに沿って意見交換を実施しました。“その人の強みに寄り添う”“本人に合ったサポート”“家族の不安への支援”など、意見交換を通じ交流・情報共有できました。この経験を今後の看護に役立てたいと考えています。



意見交換会を今後も継続していくことで、参加者同士の親交が深まり、刺激し合い、地域の精神保健・医療・福祉が活性化されると考えています。人と人、人と資源がつながり、顔のみえる関係をつくる、精神保健・医療・福祉が包括的に関わる支援体制の取り組みを目指しています。

お忙しい中、ご参加いただきました皆様ありがとうございました。

精神看護をつなぐ会
日本看護協会感染管理認定看護師 永井啓祐